

次世代に想いをつなぐ農業 -株式会社中嶋農園-

農業生産法人 中嶋農園
〒612-8133 京都府京都市伏見区向島
鷹場町3番地の2
TEL/FAX : 075-632-8013
<https://nakajima-nougyou.com>



公式LINE

時代に合わせた農業生産



生ごみ肥料の使用

農業では、野菜が土から有機物を吸収し、収穫するごとに土壌の地力は減っていきます。この地力の低下を防ぎ、次世代に豊かな土壌をつなぐためには、堆肥や有機肥料として有機物を土に返す必要があります。生ごみを焼却処分せず、適切に堆肥化して農地に還元し利用することは、廃棄物削減や化学肥料の使用抑制につながるため、持続可能な農業を支える環境に良い取り組みです。中嶋農園さんでは、生ごみと米ぬかを半々で混ぜ、発酵させて使用しています。



コメの選び方



中嶋農園さんで栽培している「ヒノヒカリ」「にこまる」は高温条件下でも安定した良食味米を供給できるため、これら両品種の栽培は、気候変動リスクを分散し、持続的なコメの生産を可能にします。

後世へつなぐ想い



経営基盤の強化

株式会社化により、法人としての経営基盤を固めています。また、組織を生産部と営業部に分け、収益の変動を管理し、経営と増員のバランスをとった農業経営を目指しています。



若者へのキャリアとしての提示



以前から高校等と関わりをもち、「食いく先生」制度の利用を通じて支援を受け、子どもたちの選択肢の中に「農業」を増やす環境づくりに貢献しています。



農法の未来への継承

自分たちの農法を確立し、それらを周りにも広めることを目標としていますが、外部を変えるよりもまず自社の社員数を増やし、社員がその農法を使うことで結果的に農法の輪を広げていくという堅実な普及戦略をとっています。